

こんにちは
日本共産党
大分市議団
 です

2014年1月5日

870-8504

大分市荷揚町2-31

市議会日本共産党控室

TEL 537-5695

FAX 537-5791

http://www.jcp-

oitasigidan.com

E-mail: occ-jcp

@oct-net.ne.jp

家庭ごみ有料化 施設の建て替え費用にも 目的変更 市民にあらためて説明を



基金の使い方

市民に説明なし

手数料収入を受け入れる基金をつくと…。

一般質問に、市長は「限られた財源の中で、どう市政運営をやるかが最大の課題。その議論を抜きに、(有料化の)議論だけをやるつもりはない」と、施設建設などにも使うことを明らかにしました。

条例の命、手数料の使

途や目的の大きな変更を、

市民に説明していません。あらためて市民への説明から始めるのが筋です。

ごみ減量は分別の徹底すすめてこそ

有料だけでは「排出量が大きく減少するとは考えていない」と、環境部長は答弁しています。分別の徹底など、ごみ減量・リサイクルに取り組み、その結果を検証して

からでも、有料化の議論は遅くありません。

有料化で不適切な排出なくなるか?

有料化によって、適正

排出をうながすといいま

すが、きわめて疑問です。

減量の意義や環境などについて、説明・話し合いをすすめてこそ、減量は促進されるはずです。

法の拡大解釈で

ごり押しは問題

憲法25条や、廃棄物

処理法の趣旨から、家庭ごみの処理は、自治体固有の事務であることが明白です。また有料化の根拠としている地方自治法227条(特定のものにする事務の手数料徴収)を拡大解釈して、負担を求めるとも問題です。

有料化はさらなる

市民生活の圧迫に

市民の暮らしは、景気

の低迷、社会保障の切り

捨て、消費税増税など、厳しい生活を余儀なくされていきます。これ以上、市民生活を圧迫することは許せません。

ごみ有料化ストップに、

力をあわせましょう。

日出生台演習場への配備反対を

☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆

26日、オス

プレイ配備撤回

実行委員会は、

大分県へ申し入

れをしました。

対応した防災危

機管理課長から

は「これ以上の

負担増は困難と

いうのが知事の

態度」との説明

がありました。



ひろつく
広次忠彦
通信210
 TEL568-8833

- ◎ 1日、消防団・第4方面対の内点検。
- ◎ 5日、一般質問にたち、市長答弁も。
- ◎ 7日、秘密保護法の強行で街頭宣伝。
- ◎ 8日、戦争開戦の日・平和学習会。
- ◎ 11日、府内5番街の方と議員の意見交換会。
- ◎ 13日、議会本会議で反対討論にたつき大会。
- ◎ 14日、地元の餅つき大会。
- ◎ オスプレイ配備反対の街宣(27日も)。
- ◎ 15日、保険医協会の「これだけの日本」集会に参加。
- ◎ 23日、植田東中PTA・部活に挑戦。
- ◎ 26日、オスプレイの日出生台演習場への配備反対で、大分県へ申し入れ。